目黒稲門会会報

（題字：眞仁田　勉　初代会長）

第４６号　2010年 3月　発行人：八幡和三郎　編集長：服部 尚彦　事務局長：吉田 博行

事務局：〒153-0053　目黒区五本木2-47-5　Tel 03-3713-2096

2010年　新年会　盛大に開催

2010年1月16日（土）、こまばエミナースにおいて78名出席のもと、目黒稲門会新年会が盛大に開催された。

第一部　講演会

講師　松平定知氏

演題　「その時歴史が動いた―取材ノート」

松平氏の講演は、興味のある話題が多岐にわたっているが、此処では要旨は以下の通りであった。

私は、昨日仕事で北陸の芦原温泉に居た。豪雪の中、京都経由サンダーバードで行ったが、これが京都着で既に小1時間遅れ。敦賀辺りから横殴りの大変な雪となり、更に遅れて到着。結局この雪の季節に芦原温泉に行って、温泉にも浸らず、雪見酒も飲まず、蟹も食わずにトンボ返りをして来た。それは全て今日の講演のためであった。

1）ＮＨＫの長寿番組

① 志の輔師匠の「ためしてガッテン」

② 国谷裕子女史の「クローズアップ現代」

③ 松平定知氏の「その時歴史が動いた」

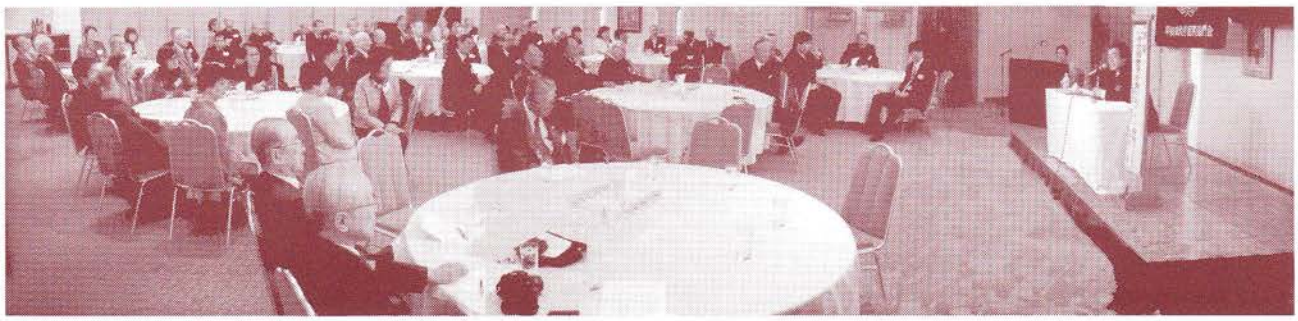
ＮＨＫには例えば「ノド自慢」、「今日の料理」とか「みんなの歌」など50年～60年続いているお化け番組があるが、「一人のキャラクター、一人の司会者が、その一人の人の為のタイトルを持った番組を放送して13年、14年」というのは全く稀有な例と思う。科学番組の延長線上で「ためしてガッテン」になってから常時12～13%の視聴率を頂いているのは素晴らしい。

国谷裕子さんの「クローズアップ現代」は毎日で、今日は国際問題、明日は日本の政治の問題、明後日はパチンコ問題とか色んな問題を処理する訳で、これは歴史に残る名番組と思う。

この「クローズアップ現代」、「ためしてガッテン」の次にランクアップされていたのが「その時歴史が動いた」で、これは9年続いた。ご存知の通り志の輔さんは落語家、国谷さんは一主婦の立場でNHK外の方であるが、私はNHKの職員で2007年11月（誕生月）に定年退職した。優秀な後輩が沢山いるのに、1人の人間が1つの番組を独占するのは良くないし、年度途中で司会者が変わるのも良くないので、2007年4月から辞めると言ってきたが、なかなか区切りがつかず、昨年3月25日に最終回の放送をした。一番良い時に辞めさせて頂いたと思う。引き時は大変難しく、「本当にやめちゃうの」と言う雰囲気の時に辞められたのが良かったと思う。

④鈴木健二氏の長寿番組

私の番組の前に、NHKの歴史番組というのは30年くらい続いていた。その中の最長不倒距離は鈴木健二さんの「歴史への招待」で5年2ヶ月続いた。後発の歴史番組担当者は鈴木健二さんの番組に追い付け、追い越せを目標にしていたが、必ずしも報いられなかった。その中で皆様方のご支持を頂き、これを超えたの



が「その時歴史が動いた」であった。支持された理由は歴史的事件が起こった現場に必ず行って、現場の匂いを嗅ぎながら何等かのメッセージ発することで現場を大切にし、スタジオで小手先の処理をすることを避けてきたことにある。

2）視聴率

テレビの視聴率は大切で疎かに出来ないが、それ以上に大切なのが視聴者の皆さんからの信頼である。「その時歴史が動いた」の最高視聴率は16.7%、日本の人口を１億人としても実数は1千6百70万人。この方々が関心を持って私の番組を見て頂いたことになる。

3）タイトル

何事も何かをやる為にはタイトルは非常に重要である。その意味で「その時歴史が動いた」というタイトルは出色であった。新聞発表の前日まではこのタイトルは「その日歴史は動いた」であった。大阪放送局長が寸前にこのタイトルを見て「その時歴史が動いた」と変更した。「その時」というとその瞬間を鮮明に印象づけ、その周辺をザックリと伝えられ、しかも嘘にならない。日本語の深さを思い知った。日本語の持つ素晴らしさであり、このタイトルが大成功をした例である。

4）歴史

歴史は古臭いと思っている人が多いが、古いが古臭いものではない。先日“箸墓古墳”が卑弥呼の墓らしいという研究結果が出たとの報道があった。反対の立場の人もいるので慎重でなければならないが、歴史は毎日変わる新しいものだと言う考えに立とうとしていた。

過去に起こった出来事は誰でも皆知ることは出来るが、その時の状況を見た人はいない。歴史は往々にして勝者が語ったものでフィクションを交えてしまう。歴史は年代ではなく、数字でない。斬られれば血の出る人間のドラマであるとあの番組を通じて訴えたかったのである。

松平講師の話は、来年放送のNHK大河ドラマの主人公「おごう（江）の方」の母親「お市の方」に移り、戦国時代の近隣諸国との争いを交え、極めて興味深い話となったが、紙面数にも限りがあり、残念ながら省略させて頂く。

第二部　懇親会

引き続き石川智子幹事の司会により懇親会に入り、体調不良で欠席の八幡会長に代わり、浅見幹事長の挨拶があった。

青木英二目黒区長の来賓挨拶に続いて、松戸相談役の発声にて乾杯し、歓談に入った。

歓談が進む中、恒例となった目黒稲門会公式行事（新年会、総会）に初参加の井上雅乃、影山信輝、地田博昌の3会員の紹介と挨拶があった。途中で荒瀬修一郎相談役、手塚仁雄、伊藤　悠、松田哲也　各会員が駈け付け一言挨拶をした。

中締めの時間が近付き、今回初めてリード役で登場した松田哲也会員の采配で全員肩を組み校歌を熱唱した。

次いで、当会が愛用させて頂いていた本会場「こまばエミナース」が諸般の事情で閉館となることから、会場の利用に当って色々便宜を図って下さった飯野館長から御挨拶を頂いたのに対し、当会より感謝を込めて、大竹幹事から花束の贈呈をさせて頂いた。

最後に保井副会長の中締め挨拶をもって盛会裡に閉会した。　　島田　記

司会者　石川智子幹事

新年会出席者名簿（敬称略、五十音順）

（来賓）

青木英二・目黒区長、松平定知・講師、

（会員）

浅海敏之、阿部喜久雄、荒瀬修一郎、安藤虎雄、石川智子、石川純子（母上）、市瀬達夫、市瀬一江、伊藤　悠、稲垣博信、井上雅乃、井村正陽、岩佐好恭、岩佐幸子、岩崎春雄、岩瀬　暁、鵜野洋治、海口昭治、大久保健治、大杉邦雄、大竹一子、大野利幸、大野幸子（夫人）、大山高明、小倉利允、尾崎　充、小野　満、海沼美智子、影山信輝、笠谷興一朗、柏木　博、加藤榮護、川井信義、川崎真樹子、木村昭一、紀本直幸、桑野祐光、小池早苗、郡山弘文、郡山富子（夫人）、小杉　哲、後藤克彦、桜井輝隆、佐藤喜孝、島田久家、庄野　耕、鈴木政雄、田島順一郎、田畑　繁、地田博昌、千野逸平、手塚仁雄、外岡　明、外岡ルリ子（夫人）、中島侑三、長島清志、永田耕治、中西元樹、服部尚彦、服部弘子（夫人）、林田雅敏、林田敞子（夫人）、樋口定廣、樋口俊彦、堀井良造、牧野武夫、松田哲也、松戸　猛、村上　柾、村上　満、森家一三、保井　正、吉田成孝、吉田博行、米田文彦、大橋ヒデ子（友人）

会員各位

訃　　報

予ねて病気療養中の　八幡　和三郎　本会会長は甲状腺癌のため2月6日午後10時58分逝去されました。（享年75歳）　ここに謹んでご報告致しますとともにご冥福をお祈り申し上げます。

尚、葬儀は2月11日、12日に喪主　八幡　禎子（やはた　ていこ）様（ご令室）の元、目黒区中目黒の正覚寺でしめやかに執り行われました。

目黒稲門会事務局　吉田　博行

各部会からの案内・報告

囲碁部会

第48回オール早慶囲碁フェスタが平成21年12月5日（土）、日本棋院市ヶ谷本院において囲碁会現役、囲碁会ＯＢ、首都圏各地域稲門会から260人参加により盛大に開催された。　結果は、

○　無差別級

現役	早稲田22勝、慶応10勝
囲碁会ＯＢ、稲門校友	早稲田70勝、慶応65勝

○　ハンディ戦

稲門会校友	早稲田 40勝、慶応28勝

○　合計　　早稲田132勝、慶応103勝

目黒からは4名参加して7勝1敗の好成績でした。また、平成21年12月13日（日）目黒忘年囲碁大会が下目黒住区センターにおいて開催された。

○　各クラス優勝者

A　桑野祐光氏（昭和33年商研）初優勝
B　唐沢栄一氏（昭和32年理工）初優勝
C　永田耕治氏（昭和36年商　）2連覇

囲碁部会長　保井　正

麻雀部会

(1)　三区連合親善麻雀大会

10月24日（土）、渋谷の麻雀クラブ「スリーハンドレッド」に於いて、第25回三区（目黒・渋谷・世田谷）連合麻雀大会が目黒稲門会主催により開催されました。24名参加による親睦を深めた競技の結果、優勝は（渋谷）瀧澤氏、準優勝は（世田谷）田島氏、三位は（目黒）上村氏と三稲門会が上位の賞を分け合いました。

(2)　定例麻雀大会

12月13日（日）、武蔵小山の麻雀クラブ「サン」に於いて本年最後の第39回定例麻雀大会が佐々木芳子、小倉利允の両新部会員を含め16名の参加により開催されました。和気藹々の競技の結果優勝は須佐井氏、準優勝は小池氏でした。また樋口相談役も最多得点賞と健闘されました。大会終了後には雀荘近くの中華料理店「井門」に於いて忘年会を実施し部会員相互の親睦を一層深めました。

(3)　部会長の交代

4年半に渡り活動された松尾第二代部会長が昨年末で退任され、新年より鵜野前副部会長が新部会長として役員会で選任されましたのでご報告します。前任同様宜しくご指導のほどお願いいたします。

(4) 今後の大会予定

4月10日（土）第26回三区連合親善麻雀大会
6月20日（日）第41回定例麻雀大会
8月28日（土）第27回三区連合親善麻雀大会
10月23日（土）第28回三区連合親善麻雀大会
12月12日（日）第42回定例麻雀大会（忘年会）

を開催予定しております。皆様奮ってご参加下さい。

麻雀部会長　鵜野洋治

旅行部会

『旅行部会１０年史』

旅行部会の始まりは平成11年6月に実施された熱海での親睦旅行といえます。樋口初代事務局長が設立間もない目黒稲門会の結束を固めるには泊まりがけの旅行で幹部、会員の意思疎通を図るのが一番ということで23名が参加した。

平成11年10月の「鎌倉歴史探訪」からは大竹初代部会長による旅行が開始された。土曜日の日帰りということと花、紅葉、風景を主体としたことで毎回30名前後の参加があり、好評を博した旅行ばかりでした。平成15年4月の「高遠コヒガン桜と残雪のアルプス展望」までの7回実施された。

平成16年4月より井村正陽部会長に代わってからの3回目までは現地集合現地解散の一泊二日の旅であったが、4回目からは専用バスによる一泊4食飲み物付きの旅行を原則とするように変化した。合計10回の旅行が実施された。　現在、春と初冬の年2回実施を基本に実施しておりますが、日曜月曜実施のためもあり、毎回の参加者は25名前後です。平成16年以後の10回の旅行概要をお知らせいたします。平成22年6月上旬には第11回を予定したいと考えますので、皆様のご希望、ご要望があればお知らせください。

平成16年　4月	「春の箱根路を訪ねる旅」 箱根保養所　18名
16年12月	「熱海MOA美術館と伊東温泉」 伊東温泉　18名
17年　6月	「愛知万博と伊勢神宮」 名古屋市内　16名
18年　5月	「みちのく水沢と平泉の旅」 厳美渓温泉　31名
18年11月	「茨城水戸、大洗、袋田の滝」 大洗温泉　21名
19年　6月	「新緑の北長野　小布施と善光寺」 渋温泉　25名
19年11月	「義理と人情の吉良三州と舘山寺」 舘山寺温泉　22名
20年　6月	「栃木市と日光を訪ねる旅」 鬼怒川温泉　23名
20年11月	「飛騨高山と世界遺産　白川郷」 高山市内　28名
21年11月	「外房総と九十九里、銚子の旅」 山武市蓮沼　23名

毎回テーマを持った旅とするよう心がけてきました。4回目以降の旅は朝、目黒駅を出発したらお土産以外はお金の掛からないものとしました。

旅行部会長　井村正陽

美術・歴史鑑賞部会

春暖かくなると「美術・歴史」を楽しむ散歩・旅行のシーズン到来です。昨年は、真鶴の「中川一政美術館」、笠間の「日動美術館」とバス旅行を兼ねて楽しみました。

インターネットから今年の美術展情報を検索してみると、興味ある美術展がいくつかありました。東京都美術館では、「ボルゲーゼ美術展」（1月16日～4月4日）で17世紀のローマを代表する名門貴族のボルゲーゼ家のコレクション。 ラファエロ・サンツィオ「一角獣を抱く貴婦人」、カラヴァッジョ「洗礼者ヨハネ」が出品されています。歴史に興味ある方には、江戸東京博物館「チンギス・ハーンとモンゴルの至宝展」(2月2日～4月11日)が開催中です。 国宝レベルの一級品が見られます。モンゴル大帝国の繁栄と衰退までの歴史を知ることができます。

今後は、旅行部会と合同での企画も計画しながら、いろいろな形で美術・歴史鑑賞部会を実施していきたいと考えています。

美術・歴史鑑賞部会長　後藤 克彦

ゴルフ部会

春爛漫良い季節、第26回ゴルフ会を計画しました。

○　月日：2010年4月23日（金）

○　場所：セントラルゴルフクラブ

〒311-3832　茨城県行方市麻生　2196

Tel. 0299-72-1155

多くの公式競技に使われた伝統的なコースで、フェアウエイもゆったりとしたレイアウトです。

○　費用：総額20,000円程度（パーティ代等を含む）

いつもの様にバスで往復します。初参加者の方など歓迎致します。　ご連絡下さい。

ゴルフ部会長　大野利幸

ウォーキング部会

＜今後の活動予定＞

第35回　3月9日（火）

―日本一の梅の里・奥多摩の吉野梅郷を歩く―

JR青梅線・日向和田駅（13時集合）―梅の公園―青梅きもの博物館―吉野梅郷―即清寺―吉川英治記念館―二俣尾駅＜6キロ＞

☆帰路は西荻窪・"雪中梅" 蔵元直受店にて梅の宴

第36回　4月3日（土）

―秦野高原にソメイヨシノを求め、富士山を望む―

小田急線・秦野駅南口（13時集合）―今泉名水桜公園―浅間山―権現山―弘法山―秦野市立宮永岳彦記念美術館―鶴巻温泉弘法の里湯―鶴巻温泉駅

☆参加ご希望の方は桑野まで、口頭、Tel（留守電アリ）、Fax：

☆ご家族、友人の方もどうぞ！

ウォーキング部会長　桑野祐光

カラオケ部会

カラオケ部会第95回を迎えて初めて新年の集いの会を、特に日程を改めず、会終了後「やぶそば」で開催することとなりました。

お節料理も飽き軽くそば屋で一杯と言うのも結構、味なものですね。

一杯と謂えば先ずお酒と言えるでしょう、新年・新酒となると、昔は酒屋の軒先に新酒が出来たと・・「酒ばやし」（杉玉）が飾られたものでした。

『酒おもしろ語典』銘酒「千代菊」板倉又吉15代当主著

極楽をいずこにありと思いしに
杉葉の立てたるよも作が門　　一休和尚
杉の葉のピンと戦（そよ）ぐや新酒樽　　一茶
杉の葉のつるしてみるや濁り酒　　一茶

雑談を交えた会が盛り上がることでしょう。

カラオケ部会長　海口昭治

俳句部会

「萩の初句会」は下記のとおり、予定通りに開催いたしました。

このたび俳句部会設立にご貢献いただきました梶恵作さんがご多忙のため退会されました事は残念なことです。一日も早い復帰をお待ちいたしております。

第13回「萩句会」報告　（順不同）

日時　：　1月15日（金）14時～17時
場所　：　下目黒住区センター会議室

安藤虎雄　○元旦に七たび干支の恵みうけ
川井素山　○息災に時の鐘聞く年の暮
桑野祐峰　○湯豆腐や心許せし友と酒
紀本直幸　○雑煮餅いくつ焼くかと妻の問う
保井寶正　○太箸や節振舞ひに朝日さす
米田文彦　○坂道を富士見ゆるまで大旦
佐藤喜仙　○元朝やわづかに濃きか妻の紅

第2回俳句入門教室開催のご案内

2010年4月より「第2回俳句入門教室」を開催いたします。会員はもとよりですが是非ご家族の方々にも入会をお勧めいただきたくご案内いたします。内容は、全く俳句を創られたことが無いという方を対象に俳句の一から勉強いたします。

①開催日時：毎月第三金曜日　10：00～12：00
②開催場所：下目黒住区センター3階の会議室
③期　　間：6ヵ月　　会費無料
④用意するもの：当面筆記用具並びにノート。
　　但し初回テキスト代1000円
⑤6ヵ月終了後：「萩句会」に参加されて俳句のある生活を楽しんで下さい。
⑥参加申込み：下記にファックスまたはメールにてお申し込みください。
　　FAX
　　MAIL ys-sato@k07.itscom.net
　　俳句部会長　　佐藤喜孝

若木会　(旧・目黒稲門若手会)

「若木のように瑞々しく、のびのびと育ちゆけ」と、外岡相談役に頂いた「若木会」の新名称のもと、12月12日(土)には今年もクリスマス会(忘年会)を開催しました。チキンの丸焼きなど中西千可子先輩の手料理を囲み、皆で準備した手作りのパーティです。近隣他区からの参加者も交え、話題も地名の由来～恐竜～報道問題～日本茶の楽しみ方など、尽きることなく楽しい会話が弾みました。

＜次回のご案内＞

2010年の第一弾は、先輩方にもご参加頂く「心の若木会」です。現在日程調整・企画中ですので、決定次第HP・メールにてご案内します。

日時　：　4月～5月頃
場所　：　品川駅周辺ビル内驚きの遊戯施設と「つばめグリル」を予定

この他、花見などサプライズ企画も随時御案内致す計画でおります。

若木会幹事　石川智子

グルメ部会

新しいこころみとして、下記を計画中です。

『早慶レガッタ応援＆うなぎ料理』
・日時：4月18（日）12：30～
・場所：隅田川沿いの老舗うなぎ屋
　　（駒形前川を予定）
・会費：5,000円（飲み物代は個人精算）

なお、早慶レガッタの現役試合は14:30からですが、目黒稲門会副会長の井村様が参加されるOB戦が、10:30から開催されます。隅田川桜橋中央部分にその時刻に集合、応援の後、滝廉太郎の『隅田川』歌詞どおりの川面に桜が散った隅田川沿いを散策するオプションも予定しています。また、近傍には桜餅で有名な長命寺や言問団子の老舗もあります。

詳細は3月末にご案内いたします。

グルメ部会長　海沼美智子

よん月会

目黒稲門会員、誰もが参加でき、気軽に飲み語り合う「よん月会」。いわば、同窓で作る都会的地域の会でもあるのです。毎月第四月曜午後6時より8時まで、「あっぱれ」都立大学店にて4,000円で飲み＆食い放題。楽しい話題もポンポン飛び出します。

目黒稲門会に入会したけれどお仲間をお探しの方、飛び入り大歓迎！ブラッとご参加ください。

初参加される方は、入り口に位置している幹事に一言お声掛け下さい。直ぐ貴方と同窓である全出席者にご紹介します。　皆に歓迎され、其の後は、サッと話の輪に入ることが出来、楽しい世界が出来ると思います。

是非、お足を運んで、お試し下さい。

よん月会幹事　土川俊雄

会員の広場

『手帳一冊、酒一升』

加藤　榮護（昭和31年　理工）

大事件が発生した。大事な手帳を紛失してしまった。

現役を退いてほぼ10年が経つ。長年のスーツ着用の習慣を捨て、ネクタイ無しの気軽さの代償に何処に出かけるにも小さなショルダーバッグを持ち歩くようになった。

小生、近頃めっぽう忘れ物が多くなってきた為でもある。このバッグには、嘗て背広のポケットに入れていた小生の全情報が入っている。その中に在るべき手帳が無くなったのだ。

去る11月の中旬、以前勤めていた富士通の後輩連中との会合に出席し、少し飲み過ぎて車で帰宅した。

翌朝、予定の確認をしようとバッグを開いたら手帳が見つからない。この手帳には、予定表や友人知人の電話番号等のほかに、小生の大事な情報がすべて書き込まれている。昨夜の車の中に忘れたに違いない！

そういえば車の中で手帳を見て、会合に出席しなかった後輩に電話したことを覚えている。早速、関係者や運転手に調べてもらったが、何処にも見当たらないと言う。何れにしても手帳の情報を復元しなければ、今夜からの活動に差し障りがあると思い午前中いっぱいをかけて、パソコンに残っている情報をプリントして、ニワカ作りの手帳を仕上げた。

この夜は、熊本県人会の総会で500人以上の参加者があり、会が盛り上がっている最中に家内から携帯電話のベル、手帳発見の通報であった。

手帳の発見者は隣家の市瀬さんだと言う。手帳は雨の中、一晩を過ごしたらしい。市瀬さんが夕刻、はがきをポストに入れに出かけたときに、「駐車場の前の路上に落としていました」と言うメモ付きで、家内に届けてくださったものだった。

小生は天にも昇る気持で、トッテオキの「霊山」を一本持ってその夜市瀬さんに届けた。

市瀬夫人から、うちの旦那様が突然隣から大好きなお酒が届き、一升瓶を抱きかかえて喜んでいると伺った。

小生としては真からの感謝の印であったが、これも稲門会の仲間がなせる業か、それにしても良き隣人との付き合いは益々深くなっていく！

後日談・・・

某氏曰く・・・加藤さんの後からついて行くと、忘れ物や拾いものがあり、一升瓶にありつけるのではないか・・・！

『綴り方』

島田久家（昭和27年　商）

お恥ずかしい古いものを持ち出してしまったと悔やんでおります。

実は、昨年12月3日に従姉の見舞い（85歳、癌手術のため入院中）の際に、話題の一つにと思いコピーしたものを持っていたものです。

私が小学校2年生の時、父が日中戦争（当時は支那事変）に赤紙召集された折、従姉の家（父の実家）に泊り込みで世話になりました。 そこは私が幼年時代に満州事変勃発時にも父が招集されたため、預けられた実績もあり、どちらが自分の家か分らなくなった時もあった程でした。

その思い出話でもして、手術前の緊張を解してあげようと思って持ち出した物でした。

この作文（当時の正式科目名）は、小学校で出征兵士のいる家の子供に作文を書かせて謄写版印刷したものを、それぞれの兵士宛慰問袋に入れて送ったものと記憶しております。

私の作文は、父が北支方面へ転戦中、紛失しない様大事に身につけて持ち帰ったものです。

「豆まき」　　尋二　男　島田久家

ぼくの家は豆まきです。ぼくはうれしくてたまりませんでした。お母さんが豆を八百きで買ってきていってますに入れました。

だんだんうすぐらくなるとほうぼうの家で豆まきをはじめました。ぼくの家の前のかじやで豆をまいたのをぼくは見てゐました。ぼくのうちもそろそろはじめるしたくをしました。それからごはんをたべてから神だなにのせてあった豆を下におろしました。ぼくはすこしはずかしくっていつまでもしないでゐました。そのうちに八時がなったのでぼくは　はずかしいのをがまんして「福は内、福は内」といひますとみつるが「おれがやるんだ」といひながら拾ひました。ぼくはえんがはに出て「鬼は外　鬼は外」といひました。するとみつるが豆をつかんで「福は内！」といひました。

するとまた八百きでも「福は内　福は内　鬼は外」といひました。ぼくはしばらくだまってゐました。また、あっちの方で「福は内―」といふこゑが聞えました。ぼくは父ちゃんがしなにいったので今年はじめて年男になったのです。　　昭十三、二、八　作

栃木弁その他が出て来ますので、若干の解説を加えました。　尋二　男：尋常小学校2年男子（3年生まで男女共学）、八百き：八百喜（八百屋の商号）、かぢや：鍛冶屋、みのる：3男の弟、支那：中国、

なお、昭和13年作とありますから、今から72年前の作となります。

(編集から)

本稿は、目黒稲門会の「よん月会」での雑談で島田さんから伺ったエピソードを無理やり紹介することを了解して頂いたものです。

『房総、九十九里浜の旅』

梶　恵作（昭37年　政経）

11月15日、我々一行（23人）を乗せた富士急行バスが目黒駅東口を出発したのは8時定刻通りであった。東京アクアラインを通り海ホタルにて最初の休憩。昨夜までの雨風もやみ、波穏やかで富士山の眺めも美しい。

木更津から千葉県に入るが遠足に来たような気分に浸る。山といえば400m級が一つと300m級が幾つかあるくらいでおおむね平坦な台地と平野が広がっている。四方を海と川に囲まれ、冬暖かく夏涼しい海洋性の温暖な気候である。海岸線は545Kmと長い。目的地へ向かいバスがひた走る。

千葉・養老の滝渓谷に到着し、粟又の滝を見学。昨日の雨で濡れた河原の土や石に足を取られそうになりながら滝の下まで歩く。紅葉した樹はまだ少なく斑なコントラストが面白い。

粟又の滝を上り下りしたせいか、安房小湊についた頃はお腹も空き、地魚磯料理のお店で魚三昧の昼食にありつく。一緒に出された地元「なめろう」の磯の香りは酒好きな人にはぴったりの味であろう。

外房の海は波も荒々しく海岸沿いにフェニックスの木が立ち並んでいる。今日は低気圧の名残か、天気晴朗にして波高しであった。鯛の浦の遊覧船が強風で欠航したのは残念だったがその代わり、日蓮上人ゆかりの誕生寺をゆっくり見て回ることができた。

九十九里浜をさらに北上し、蓮沼ガーデンハウス「マリーノ」に到着。ゆっくり汗を流した後、18時から夕食。八幡会長のご挨拶と加藤前会長のスピーチ（乾杯）そして豪華な料理とおいしいお酒を戴き、皆この一年の疲れを忘れ大いに盛り上がる。ビンゴゲーム、カラオケ大会と続き、少し早い忘年会を満喫した。

2日目の朝はホテルの窓から太平洋の暁光を見ることができ、朝食後ホテルを出発。バスは海岸線をさらに北上し、犬吠埼に着く。ここから銚子観光ガイド2人の説明を聞きながら散策。話によれば松尾芭蕉、竹久夢二、高浜虚子、国木田独歩らが訪れ、文学碑が多い所である。

犬吠埼灯台のすぐ近くには白亜紀の地層がむき出しの断崖があり上から覗きこむことができる。国の天然記念物として保存エリアになっていて下には降りられない。しばらく灯台の近辺を巡り、銚子電鉄の犬吠駅まで歩く。駅で銚子電鉄再生のきっかけになった名物「ぬれ煎餅」などの土産物を買い、そこから1両編成のラッピング電車に乗り込む。銚子駅でバスに乗り換えてヒゲタ醤油工場へ、約400年の伝統ある醤油作りを見学。昔は水利の便を生かし江戸に荷物を運んだことであろう。お土産に超特選しょうゆ「本膳」の小瓶をもらう。

昼食は銚子港に揚ったばかりの鰯づくしの料理に舌鼓を打った。帰りは東関東自動道に出て、目黒には夕方5時に到着。天気にも恵まれ楽しい2日間の旅でした。けがや病人もなく無事に元気に行って来れたことは何よりであり、井村部会長をはじめ関係者に心からお礼申し上げます。

事務局便り

「会員名簿修正表」同封のお知らせ

会報45号に同封致しました、「2009年目黒稲門会々員名簿」に付きまして、誤植のご指摘や、訂正、追記のご依頼を数多くいただきました。

名簿は年1回の発行ですので本会報（46号）に修正、追記の一覧を同封致しました。お手数ですが、お手元の名簿の修正をお願い致します。

尚　修正・追記は事務局までご連絡願います。

事務局長　吉田博行

部会案内一覧

詳細は本誌の各部会報告をご覧いただき、興味をお持ちの部会にお気軽にご連絡下さい。　平成22年3月現在

部会名	部会長 担当幹事	連絡先 電話/Fax	参加人数	当日会費	活動概要
囲　碁	保井　正		20数名	200円	毎月1回（下目黒住区センター）
カラオケ	海口昭治		15～20名	3,000円 女性2,000円	毎月　第二金曜　午後3～7時 (コートダジュール学芸大学店B1)
グルメ	海沼美智子		20～30名	6,000円～ 10,000円	年3回程度　リーズナブルな金額と雰囲気・味の良い店を厳選
ゴルフ	大野利幸		20～30名	25,000円程度	年2回　春秋 目黒通りバスで送迎
ウォーキング	桑野祐光		15～20名	なし(各自負担)	シーズン中は毎月1回程度
麻　雀	鵜野洋治		10数名	3,000円	年6回　武蔵小山"サン"　および渋谷"スリーハンドレッド"
美術・歴史鑑賞	後藤克彦		30～40名	その都度	年3～4回
旅　行	井村正陽		20～30名	その都度	年2回　春秋
若木会 (目黒稲門若手会)	石川智子		10名程度	5,000円	年数回　土曜夜　若手の企画に広い層の参加を期待
よん月会	土川俊雄 (井村正陽	)	15～30名	4,000円	毎月　第4月曜　午後6～8時 (「あっぱれ」都立大学店)
俳　句	佐藤喜孝		13名	5,000円／年	毎月　第3金曜　午後2～5時 下目黒住区センター
広報編集委員会	服部尚彦	eメール URL	meguro-tomonkai@nifty.com http://homepage3.nifty.com/me96tomon-waseda/		

校友会便り

「東京都23区支部大会」―講演会・懇親会―

1）日時：平成22年3月14日（日）
　　午後4時～午後8時30分
2）会場：第一部　講演会　大隈小講堂
　：第二部　懇親会　リーガ・ロイヤルホテル東京3F
3）参加費　：10,000円
4）申込先　：目黒稲門会 事務局
5）締切日　：3月7日（日）　厳守
6）「講演会」：　講師　梅津光生理工学術院教授
　　演題　「早稲田大学の先進医療への挑戦」
7）「懇親会」: 白井総長を囲んで
　　アトラクション―早稲田大学応援部出演

また、本年は『早稲田大学校友会設立125周年記念』にあたり、多くの企画が予定されている。

23区支部担当幹事　　大竹一子

ＨＰ便り

目黒稲門会ホームページ（HP）には『情報コーナー』というページがあります。これは会員の皆様が他の会員や一般の方々に伝えたい事項を掲載できるものです。URLは下記の通りです。

http://meguro-tomonkai.air-nifty.com/hiroba/

使用法等は上記ページに記載されています。

小杉　記

新年会初参加会員（左から）

影山信輝氏　昭和37政経　東山在住
地田博昌氏　昭和39政経　本町在住
井上雅乃氏　平成03　法　　南在住

編集後記

本会報の発行直前に八幡和三郎会長の訃報が伝えられた。 最近まで本会報にも掲載されている多数の部会の催しにもお元気で御参加を頂いていたので、信じられない気持ちである。

本会報では取りあえず会員の皆様に、この悲しいお知らせをお伝えするべく、急遽第2ページに掲載させて頂いた。

幅広い見識を持たれ、温厚で人望も厚かった八幡会長の御冥福を心からお祈り申し上げる。 合掌

服部　記